



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第99号

発行 北海道幌延町議会

編集 議会報編集委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

平成28年度 決算を認定

無量谷 隆氏を決算審査特別委員長に選任し、2日間の審査の結果、原案どおり可決されました。一般会計・特別会計の決算額については、10月号の「ほろのべの窓」でお知らせしておりますので、質疑応答について掲載します。

一般会計

◆歳出

《総務費》

齋賀委員 情報通信施設運営事業とは告知端末機のことだと思うが、関係自治体との会議は継続しているのか。

古草主幹 研究会は毎年開催されており、今年も告知端末機の更新に向けた意見交換等を実施した。また、2回目の研究会も開催される予定で、職員1名が参加する。

齋賀委員 議会は、議会の可視化を目指して中継等ビデオ放送ができればと考えている。研究会ではどのような話になっているのか。

古草主幹 ビデオ放送等もできる機械だと説明されているが、動画の配信には設備を増強しなければならず、別途予算が必要になるため慎重に検討していきたい。

鷺見委員 人事評価制度構築導入事業の委託料とは。

梶係長 平成27年度に人事評価制度の構築を行った。平成28年度の制度開始にあ

たり、被評価者と評価者の研修費用として、2百10万円を決算している。

《民生費》

西澤委員 障害者福祉管理費が実質9百万円減額になっている。この要因をどのように考えているか。

村上主幹 当初予定していたより人員の減少やサービス利用の減少が要因と考えている。

高橋委員 こざくら荘の支援事業について、経営改善に向け、どのような指導、助言を行ったのか。

藤田課長 民間の社会福祉法人の赤字を、税金で補填することがどういう事かを切々と説明した。無駄な経費がないか細かい所までチェックし、人件費についても話をした。

高橋委員 必要なものは補助し、雇用に影響がないように考慮しながら、お互いにとって良い支援のあり方を考えていただきたい。

齋賀委員 子ども医療費給付費を高校生まで拡充したが、利用者は何人だったのか。また、留年や休学して

18歳を超えた場合についてはどうなるのか。

藤井課長 利用者は37名。子ども医療費給付費の7%、約48万円。対象年齢は、高校生で満18歳以後の3月31日まで。

《衛生費》

植村委員 狂犬病の予防対策事業については実施率の向上が課題となっているが、義務ではなかったのか。

山下係長 予防接種については義務となっているが、約7割の接種率となっているので引き上げが課題。

《商工費》

吉原委員 トナカイ観光牧場の課題として集客方法の検討とあるが、周辺の川や林道を活用していく考えはないのか。

野々村町長 見える場所の管理にも留意しながら、費用のかからない資源をもう少し活用しながら展開をしていければと思っています。

植村委員 観光大使に係る経費はいくらか。

伊山係長 観光協会育成事業から活動費として60万円支出している。